第 88 回長崎大学 FD 実施報告書

平成 25 年　5 月　24 日 提出

1. 題目	自立した英語学習者の育成に向けて— e-learning プログラムの活用
2. 開催日時・場所	日時：平成 25 年 3 月 2 日（土）13：00 ～ 16:00 3 月 23 日（土）13：00～16:00　（どちらか 1 日） 場所：長崎大学教養教育講義棟　C-35 教室　(CALL 1)
3. 主催	長崎大学教養教育　英語小委員会
4. 参加者数 (別紙に参加者名簿を添付すること)	42 名　（3 月 2 日は、26 名、3 月 23 日は、16 名参加。）（講師を含むのべ人数。）
5. 長崎大学 FD に関する指針第二項への該当について 【複数選択可】	該当するものに○を記入すること [○] (1)　教員の教育活動に関するもの [○] (2)　カリキュラムの改善に関するもの [　　] (3)　教育の組織的改善に関するもの [○] (4)　その他教育改善に関するもの
6. 今回の FD の主旨・意義 (5.に関連した形で記述すること)	本学では平成 24 年度から教養教育を内容、方法とも大きく改革した。その改革の中心には、CALL 教室と e-learning の活用があり、また 2 種類の外部試験の導入がある。また、英語コミュニケーション I,II は、すべてネイティブスピーカーが担当する体制もととのえ、音声面での学生の英語力強化もすすめている。 CALL 教室と e-learning の活用に関して、平成 24 年度後期から専任教員担当の総合英語においては、自律的学習者育成の観点から、e-learning 教材の学習成果を評価の一部に組み込んだ。指定された e-learning 教材は、千葉大学より導入した 3 Step システムとアルク教育社の語彙修得教材「パワーワーズ」であり、学習の成果や履歴を評価の 20%に加えた。また、平成 23 年度からは、G-TELP（国際英検）レベル 3 を評価の 20%に加えるシステムを確立し、半期ごとに成績の向上度を客観的に確認できるようにした。さらに、平成 24 年度からは、言語教育研究センター主導で、入学時の 1 年生に TOEIC-IP を行い、学部ごとの入学時の英語力の把握も行うようになった。 今回の FD では、まず G-TELP および TOEIC-IP の平成 24 年度のデータを提供し、考察を行い、英語教育のあるべき方向性をすべての英語教員に共有してもらった。特に、ふたつのテストのデータにより、本学学生の学力の現状や強化ポイントを確認してもらった。また、ふたつのテストの相関や回帰分析の内容を説明し、客観的なデータの蓄積の大切さを認識してもらった。 次に、e-learning 学習の必修化と題して、全英語教員の取り組みをお願いした。平成 25 年度からは、非常勤講師も含めて、すべての総合英語 I,II,III および、英コミ III において、e-learning の課外学習が必修化されることを確認し、さらにその評価方法を詳細に説明し、協力を要請した。さらに、実際に課外学習用のふたつの教材を体験してもらい、学生への指導に生かせるようにした。 今回の FD を通して、専任教員と非常勤講師とのさらなる協力体制の構築、英語教育上の問題点の共有、および新しい英語教育改革への理解への徹底を図

	ることができ、さらに意見交換により英語教育の課題を認識することもできた。 今年度も、長崎大学の英語を担当しているすべての教員を対象とした FD とし、同一内容を二度実施して、すべての英語担当教員が必ず参加できるようにした。
7. プログラム構成 [題目・担当講師] (当日使用した資料等を添付すること)	1. あいさつ (担当　稲田センター長　10 分) 2. H24 年度 G-TELP と TOEIC-IP のデータから見る本学学生の英語学力とその分析（担当　小笠原　40 分） 3. e-learning 学習の必修化に向けて（担当　30 分廣江教授） 4. 3 Step CALL System とパワーワーズについて(担当　奥田助教　30 分) 5. 全体の質疑応答およびディスカッション(廣江教授　40 分)
8. 実施した FD の成果等 (アンケート等の資料がある場合は添付すること)	本学の学生の英語学力をふたつの外部試験のデータにより把握してもらった。 e-learning の課外学習とその評価方法に関して、非常勤講師の先生方にもその方法や手順を理解してもらった。 先生方に e-learning 教材「3Step CALL システム」や「パワーワーズ」を体験していただくことにより、教材に興味をもっていただき、e-learning 学習の導入の大切さを理解していただいた。
9. 実施代表者の連絡先	氏名：英語小委員会委員長　稲田　俊明 部局：言語教育研究センター e-mail：inadat@nagasaki-u.ac.jp　　内線：2379
10. 申請者の連絡先	氏名：英語小委員会副委員長　小笠原　真司 部局：言語教育研究センター e-mail：ogasa-s@nagasaki-u.ac.jp　　内線：2094